

# 陽だまり

発行：札幌市立東白石中学校図書館

令和5年10月30日 第6号

## 「読書週間イベント」(図書局企画)がもうすぐ始まる！

11月24日(金)から始まる図書局企画「読書週間イベント」(12月1日(金)終了)は、『ビブリオバトル』と『しおりコンテスト』に決定しました。局員がそれぞれのチームに分かれ2年生からリーダーを選出し、役割分担やスケジュールなど局会や放課後に集まって話し合いを行い、イベントを盛り上げるため奮闘しています。スケジュールは下記のとおり。たくさんの参加をお待ちしています。



日	月	火	水	木	金	土

### ★しおりコンテストの募集期間

・11月9日(木)～17日(金)

### ★ビブリオバトル予選会：(変更になる場合あり)

・11月10日(金)放課後、場所は図書館。

後日、局会で上位3名を決定します。

※コンテストなどのルールなど詳しいことは、ポスターやクラスルームでお知らせします。



### 『ためになる新聞記事コーナー』

図書館前廊下掲示板において、新聞3紙(朝日中高生新聞、北海道新聞、読売新聞)の記事比較を行っています。テーマは、「ノーベル賞生理学・医学賞」。受賞対象となった新型コロナワクチン基礎研究『メッセンジャーRNA(mRNA)』の概要説明や受賞者カタリン・カリコさんの苦難の歴史にも触れた記事などです。多様性を意識しながらぜひ、読んでみてください。

### アンケート結果報告

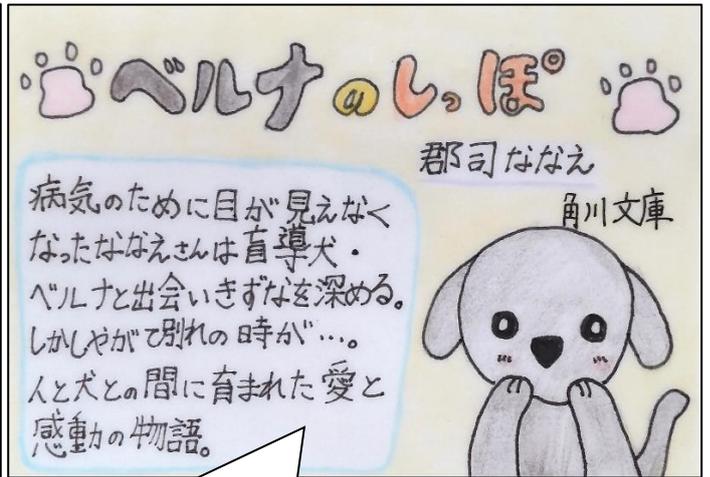
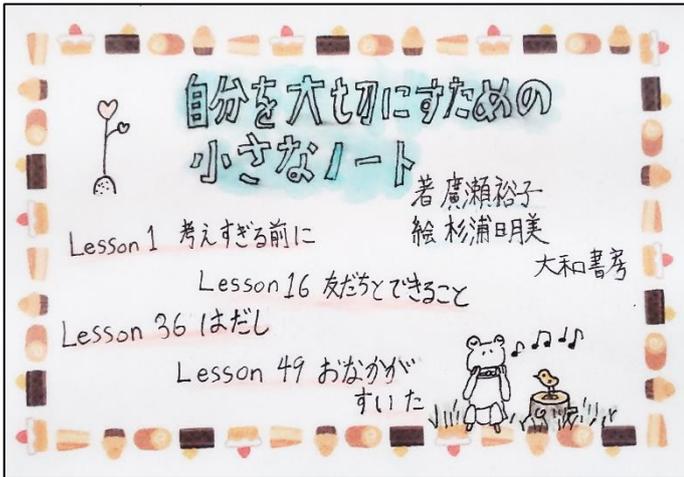
生徒の皆さん、「図書に関するアンケート」の回答にご協力ありがとうございました。

200名以上に回答をいただき、「読みたい本」の具体名が記入された中から選定した図書を購入します。入荷しましたら「図書館だより」でお知らせしますので、どうぞお楽しみに！

(ウラ面もみてね)

# 『多様性を知ろう』図書局 おすすめ本コーナー

図書館にて展示中の「多様性を知ろう」コーナーから図書館員が制作した本のPOPも合わせて紹介します。ここに紹介している本やPOPは一部ですので、興味のある方は図書館へどうぞ。お待ちしております。



『自分を大切にするための小さなノート』  
廣瀬裕子/著(大和書房、2001年)  
自分らしく生きるために、試しに一步踏みだしてみるレッスンを1から50までまとめたノート。



盲導犬のほかに、補助犬に関する物語『チェスターとガス』(ケイミー・マガヴァン/著、西本かおる/訳(小峰書店、2021年))があります。補助犬のテストに落ちた犬チェスターが自閉症の少年ガスのパートナーになる物語。

『僕は上手にしゃべれない』 椎野直弥  
ポプラ社

中学1年生になったばかりの柏山奇悠太は、幼いころから“吃音”という声の障害に苦しめられていた。  
いつもしゃべることから逃げていた悠太はある日、一枚の部活勧誘のチラシをもらい...



「吃音」(きつおん)関連では他に、吃音のある詩人を支えた少年の日の出来事を描いた絵本『ぼくは川のように話す』(ジョーダン・スコット/文、シドニー・スミス/絵、原田勝/訳(偕成社、2021年))もあります。

感染予防のために手洗いをお願いします。